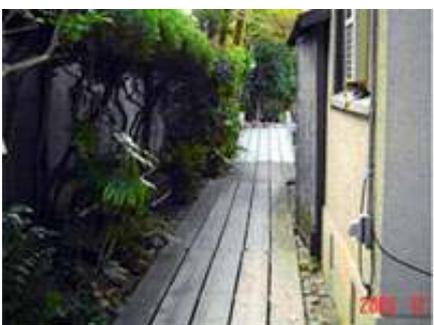


みんなで作った『バザールカフェ』

榎本てる子



2008年、関西学院大学神学部のスタッフとして就任するまで、京都で9年間バザールカフェというコミュニティカフェを運営していました。今回はリレーエッセイでこのカフェを紹介したいと思います。ようこそ！バザールカフェへ！エントランスに続くアプローチです！



バザールカフェは、1998年京都で色々な活動をしてきた人達が集まり、夢を語り、不思議な導きで始まったカフェです。

京都市の御所、同志社大学今出川キャンパスからすぐ近くにある緑に囲まれたボリス建築の洋館の一階で、バザールカフェは運営されています。この建物は、アメリカ合同教会 UCC と Disciples が管理している宣教師館で、その宣教師館を日本キリスト教団京都教区が借り、バザールカフェとタイの山岳民族の支援をしているタイプロジェクトのショップが活動をしています。バザールカフェは、キリスト者、市民活動をしていた活動家、アーティストなど様々な人達が組織する NGO と日本キリスト教団京都教区との共同プロジェクトとして始まりました。

「な～、社会問題とか机を囲んで話したり、講演会したりだけではどうなんかな～？もっと日常でお茶飲みながら話したり、情報交換したり、もっと近い感覚で知ったり、話したりできたらいいな～。」

「ロンドンにエイズ関係の団体が、ライトハウスというカフェを2階でやってんねん。NGO が運営するカフェやねん。そんなカフェ作りたいな～」

「私ら、色々な事情を抱えて生きている人達とかかわっているけど、みんな仕事したいのよ。仕事したいけど、生活状況なんかでなかなか仕事が見つからなくて、お金もないし困ってはるわ！」

「ほな、仕事作ったらいいんちゃう？カフェやったら色々な仕事出来るし、その人達のペースで働ける場作るほうが、探すよりいいんちゃう？」

「プライバシーが守られ、自分の病気の事とかを仲間と話せるピアサポート（自助団体）がいつも困っているのは、場所探しやねん。自助団体の人が気兼ねなく、思う存分プライバシーを気にせずに話せる場ってやっぱりカフェ作ることやな～」

「おしゃれなカフェで、人が出会い、情報を交換し、人が繋がる、そんな感じのカフェを市民団体で作るのもいいよね～」

「大学の学生たちが、色々な状況に生きている人達と一緒に働くことを通して、頭で理解するんじゃなくて、からだと心でいろんなことを学べる機会があるといいよね～」などなど、滞日外国人の支援をしてきた人達、HIVにかかわった活動をしてきた人達、芸術活動を通して空間プロデュースをしてきた人達、大学教員、牧師が集まり、色々な夢を飲み会や、お茶しながら1年ほど話してきました。

「同志社の近くにある宣教師館の一階が空くみたいやで！その宣教師館を持っているアメリカの教会は、Sexualityとか外国人とかエイズとか色々社会問題に積極的にかかわっている教団やし、私らが夢見ているカフェの構想に賛成してくれて、協力してくれるんちゃやろか？あたってみよ！」

と言って、夢を語ったのが12年前。私達の夢を最初に理解してくれた日本キリスト教団京都教区議長を通してアメリカの教団とつながり、積極的支援を得ることが出来、さ、開店に向けて～いざ改築開始！

「よわたたな～、お金どこから来るのかしら？改築したいけど改築費用も初期資金もないさ！困ったな～」

「助成金申請しよう！リーバイストラウス社が社員の社会貢献で助成金を出しているし」「実績とかないから……大丈夫かな？だめもとや！」

恐るべしリーバイストラウス社の寛大な心！私達の申請に110万円の助成金を一年目に出してくれたのです。コメントに「実績がないけれども、あなたたちの夢にかけましょう」夢を語り、夢を信じてくれ、初期資金をそれから3年間支援してくれたリーバイストラウス社がなかったら、今のバザールカフェは生まれなかったのです。その後、アメリカの教団も多額の寄付を送ってくれ、そして日本キリスト教団京都教区も90万円初期投資しバザールカフェは始まったのです。改築は、みんなボランティアでデッキを作ったり、内装をしたり、バザールの机、カウンター、いすすべてみんなの手作りなんです。延べ300名以上の人たちが力を合わせて工事に参加しました。若者が多かったし、夢を追ってみんな力を合わせていたせいか、いっぱい恋のロマンスもあり、たのしかったな～。私はなかったですけどね……



これは、みんなで作ってペンキを塗ったデッキと、カフェのテラス。なんせ、この敷地は250坪。庭も広いし、大きな木はいっぱい。夏みかんのなる木からは、マーマレードを作ったり、庭ではバジルやローズマリーを育てています。京都ダルクという薬物依存回復を目指すグループホームの人たちがボランティアで庭の仕事をしてくれたり、同志社大学の環境経済に

取り組んでいた学生達も庭ボランティアをしてくれています。



これは、庭の木で作った手作りリースです。



夏は蚊がたくさんいるデッキですが、自然の風でゆっくりと過ごせるアジアチックな空間。スタッフも、何時間いても何にも言わないカフェ。注文は中に入って、水もセルフサービス。なんか、自由でゆるい空間がバザールカフェの特徴かもしれません。サービスを期待すると失望しちゃうかも。蚊取り線香やかゆみ止めはスタッフに言ったらもらえます。



バザールカフェが 11 年も続いたのは、ボランティアスタッフ、食事を作ってくれていたいろんな国の人達、バザールで仕事をしてくれた仲間、毎年赤字のカフェを献金でささえてくれている人達、そしてなによりバザールのために自分の時間を惜しまず捧げ、色んな困難を乗り越え、働いてくれた歴代の店長たち。同志社の学生が多かったな～。本当に彼ら、彼女たちの存在がなかったら続いてなかったです。改築から軌道にのるまでの厳しい期間をフル回転で働いてくれた幸太郎店長、喜多條の後を、多くの青年たちが繋げていってくれました。経営だけでなく、いろんな問題と取り組まないといけない上、ろうるさい運営委員（私達）の意見を聞かないといけない中で、バザールをつぶしたくないという思いで守ってくれた人たちあってのバザールカフェだとこのごろつくづく思います。夢と心あるスタッフに出会えたことこそ宝だったと思います。現在の店長は、同志社大学神学部時代からずっとボランティアでかかわってくれていた月下星志牧師です。給料も安く、なにかと組み合わせをして働かない限り生活レベルに達しないカフェでの牧会を選んでくれた月下先生もすごいな！又、行って会ってあげてくださいね。



みんなで作った机、いす、カウンター。夏はやっと 3 年前くらいからクーラーが入るようになりました。それまでは扇風機で、暑さはそれはそれはすごいものでした。冬は暖炉に火がとり、なかなかいい感じです。中で、コンサートとかも出来ます！夜は、パーティーとか学習会とか貸切に使ってもらえるのもいいかも！



情報を得ることが出来るコーナーの設置。なんせ、このカフェは、人と人をつなぎ、人と活動を自然につなげる、ネットワークが出来るカフェを当初から目指していたので、様々な市民活動の案内がおかれています。興味のある情報や雑誌や漫画をゆっくりお茶飲みながら読むのもよし、友達やスタッフと情報について話すのもよし。



料理は、フィリピン料理、韓国料理、ブラジル料理、タイ料理が日替わりで出てきます。木曜日がフィリピン料理、金曜日が韓国かブラジル料理、土曜日がタイ料理、その他、ロコモコ、チキンサンドが定番、メニューの種類は限られているけど、最近ではワンコインランチを始めたいみたいです。（営業努力してるんだよね！）ケーキは、アメリカ人宣教師のローラ深田さんが教えてくれたクレージーチョコケーキ。一度食べてください！



フィリピン料理担当のあいばさん。料理もうまいし、ダンスもうまいし、口もうまい！とっても面白い肝っ玉かあさん。長い間、バザールは彼女の料理を楽しんでいます。同志社大学や関西学院大学の多文化共生に関する授業にゲストスピーカーに来て話をしてくれています。「マガンダ！」（きれい）「マサラップ！」（おいしい）と言ってあげてください！



とってもシャイなタイ人シェフ、なっちゃん。毎週土曜日、週代わりのタイ料理をつくってくれます。バザールカフェのキッチンには、ボランティアスタッフが日本語やタイ語を混じえながらなっちゃんと一緒に料理しています。なっちゃんは、とってもまじめなシェフなので、調理中は手際よく黙々と仕事をしています。キッチンの裏にスタッフルームがあり、そこではみんなでまかないを食べながら色々な話をします。そんな交わりを、バザールは大切にしています。なっちゃんにあったら「スワイ」（きれい）「アロイ」（おいしい）と言ってあげると喜ぶですよ！



みんながわいわいしながら出会い、つながり、一緒に語らう中でいろんなことを知ることが出来る空間をバザールカフェはこれからも提供してくれることと思います。バザールでの9年間で学んだことは、夢を持つこと、夢を語ること、夢を分かち合うこと、そして夢が人から人への伝わった時に、奇跡が起こること、そして仲間って大切だってこと。大切な宝をいっぱい貰ったバザールカフェ。京都に行かれる時は、是非月下牧師を訪ねてバザールカフェに行ってください。

気まぐれなカフェなので、夏休み、冬休み、春休みは長期で休むことがあるので事前に確認して行ってくださいね。

最寄の駅 地下鉄今出川 4番出口

京都市上京区烏丸今出川上る西入る 電話番号 075-411-2379 (ヨイニーサンナク)

営業日 水曜日 11時30分から17時まで (責任者 同志社大学神学部4年 川江)

ラストオーダーは16時30分

木・金・土 11時30分から20時まで (責任者 日本キリスト教団 月下牧師)

ラストオーダー 19時30分